

# テーマ 後継者対策

**三上専務** 木古内地区

は、新規・後継者が入りやすい地区だと認識している。潮の流れも問題なく、昆布やホタテなどの養殖漁業で、安定した水揚げを保ちたい。

**竹田議員** 漁業の将来

展望は厳しいと思うが、移住対策にあわせ新規業者への資金の支援や共同経営、法人化など行政を含め知恵を絞りながら取り組まなければならない。

**新函館農協**

**担い手就農者**

**来年は6名!**

**佐々木センター長** 木

古内の組合員は45戸。経営者の平均年齢は61歳で、後継者が決まっているのは4戸である。来年の担い手就農者は6名で、町と連携し各制度を活用しながら、各々自立し継続できる

ようにしたい。

**竹田議員**

6名の方を町の援助制度や空き農地の有効活用をして、後継者や自立農業者として育てなければならぬ。



**平野議員**

お米や野菜を「木古内産」として店頭に並べることは、できませんか。

**輪島理事**

現状、農協に出荷することで安定した収入を確保している。個人的には単品で1億円を超える産品を作り、木古内ブランドを作りたいと考えている。

**福嶋議員**

幸運牧場の

牛の頭数が、今後どのように推移していくかを知らせてほしい。

**輪島理事**

木古内、知内地区で10戸の搾乳農家です。現在150頭前後を幸運牧場に放牧していますが、面積的にもぎりぎりです。今の頭数は当面維持されたいと思う。

**森林組合**

**町有林に高齢林は**  
**かなりある!**

**中山参事**

木古内町は造林業者がなく他地域の業者に頼っている。育林・造林業者の後継ぎは結構いて若返っている。時代の変化に伴い、高性能の機械で造材するため高額な資金

**竹田議員**

がかかり、小規模業者では機械が揃わない。町有林は、徐間伐を含め森林組合にお世話になっている。行政職員は、現地の山

を知らない。今後、担当課と協議し事業計画の整理や全面管理委託は可能か。

**中山参事**

職員が、山を把握するためには何十年もかかる。条件面を整える必要があるが、全面委託を受けることは出来る。実際、町有林は高齢林化が進み、伐期を過ぎている箇所も多い。早めに手を打たないと先人に申し訳ない。

**中森代表監事**

木古内は人工林・自然林を併せると千百haほどある。現地に行き現状を把握して、財産・宝物をもう少し活用できれば町

の雇用や発展につながる。

**東出組合長**

民有林の管理には個人の負担が大きすぎる。山を守るために、町からの補助金を出してもらって、組合に仕事を任せてもらいたい。そうすると山も海も良くなっていると思う。

※内容についてはページの都合上、抜粋して載せております。更に詳しい内容については、事務局へお問い合わせください。

**議員と懇談会を**

**しませんか**

木古内町議会事務局

電話 2-4418

※お気軽にお問い合わせください

